

住まいのかわら版

新築増設
Mr. Build

<発行>

株式会社 ミスター・ビルド 福島

福島市西中央5丁目2-3

TEL.024-533-1251

暮らしをちよつとラクにする知恵を集めました！
実験感覚でやってみると楽しい！うまくできると、
すつきり&ちよつと嬉しいかも!? ぜひ試してみてください♪

皆様に暮らしと住まいを快適にするためのちよつと役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「暮らしをラクにする知恵」です。ちよつとした困りごとを解決する方法をご紹介します。

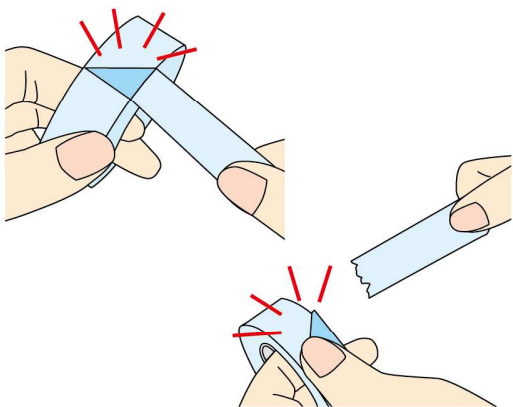
身近なモノで手軽に「困った」を解決!

●宛名シールをはがす：DMのビニール封筒などについている宛名シール。個人情報保護のため、剥がして捨てたいですね。でも手で剥がすのは難しい…。そんなときは宛名シールの上からガムテープを貼り、角からゆっくり剥がすと、宛名が印刷された上紙だけ剥がせます。宛名の上紙はガムテープごと、くしゃつとして捨てるなどするといいですね!

●ガムテープやマスキングテープなどをキレイにカットする：テープを使用したい長さまで引き出し、カットしたい部分を粘着同士を合わせるように90度に折り曲げます。2枚の合わさつたテープの縁が刃のような役

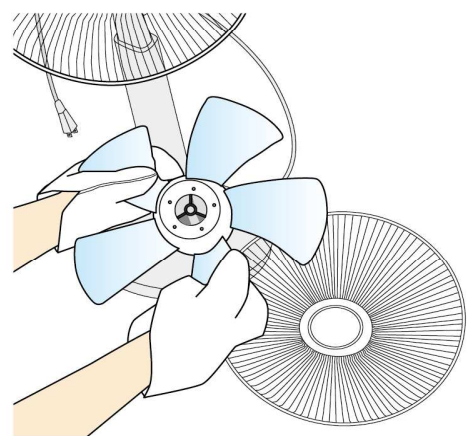


割に。カットしたいテープ部分を下に引っ張るようにすると、切り口が比較的キレイにカットできます。



粘着同士を合わせた部分を本体に残すことで、次使うときに始まりを探す手間が省けます!

●輪ゴムをお掃除に活用：①ペットボトルに輪ゴムを数本はめてラグやカーペットをこすると、奥に潜んだホコリなどが出てきます。ある程度取れたら、コロコロや掃除機で一掃! ②取りづらいいりモコンのボタンの間のホコリ取りにも。輪ゴムを真ん中あたり



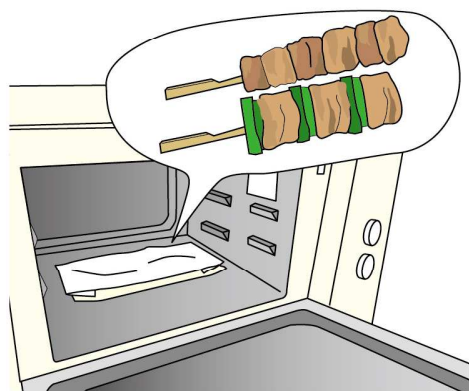
不織布製のお掃除手袋は、扇風機のお手入れにも便利です♪

で結び、結び目をリモコンのすき間に滑らせるようにして動かします。
●不織布製のお掃除手袋が便利：インターネットや100円ショップで見られる5本指やミトンの形状の不織布製のお掃除手袋は、手で触れる感覚でお掃除できるところが魅力。細かく分かれたブラインドは、指で挟みながらスライドさせればOK。照明器具やコードの掃除、靴のお手入れにも重宝します♪

調理や後片付けに役立つグッドアイデア♪

●煮物の油を取りたい：煮物などをして、時間が経つと油のかたまりが白く浮いてきます。そこで、ラップを鍋より少し大きいサイズにカットし、煮物の上に乗せて油にラップを密着。あとは、ラップの端を持ってそつとめくるとラップに油がくついついて取れます。鍋の後の残り汁の油を取るときにも便利。くれぐれも、鍋が冷めてから行いましょう。

●フライパンの予洗いはお茶のパックがおすすめ：油ギトギトのフライパンをそのままスポンジで洗うと、スポンジまで油ギトギトになり、2度洗いが必要なことも。そこで、まだ温かいうちにキッチンペーパーなどで油を軽くふき取ります。フライパンが冷めたら、使用後の紅茶など



電子レンジによっては温めるワット数や時間がさまざまです。様子を見ながら試してみてください。

のティーバッグや麦茶のパックでぬるま湯を出しながら軽くフライパンをなでると、油がある程度落ちて、その後の洗いがラク。スポンジの油污れも回避できます。
●買った焼き鳥を美味しく温めたい：ラップより、クッキングシートで包むようにして温めると、蒸気がこもり、蒸されたようにふつくと温まります。1本につき、500Wで25〜30秒が目安です。

頭の体操

間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。さあ! チャレンジしてみてくださいね!



答えは左をみてね!

服の選別・しまい洗い・収納

衣替え3原則を守って衣類を上手に管理！

住まいの快適レポート

衣替えの季節。効率よく、スムーズに衣替えを行うためのルールをご紹介します。来年に向けて愛着のある衣類を大切に管理しましょう。

衣類のダメージ、よくある失敗

お気に入りの白いシャツ、いざ着ようと思ってみたら、襟元が黄ばんでいて…。そんなガッカリな経験をしたことありませんか？来年も愛着ある衣類を身につけられるように、面倒な衣替えも手抜きせず、ひと工夫。賢い衣替え・衣類整理の極意を伝授します。

ルール 01 衣替え前に服の選別を実践

衣替えは、不要な服を見直す絶好のチャンス。今夏、着なかった服などは、思い切って手放しましょう。フリマアプリの活用も一考です。

服を手放す基準

- 3年間袖を通していない。
- サイズが合わない。
- 色あせや生地の変質など、くたびれた印象。
- 主張の強い、流行デザイン。
- 似たようなデザインの服は、数を絞る。

ルール 02 しまい洗いを徹底

黄ばみやニオイなどの衣類のダメージの主な原因は、衣類に付着した見えない皮脂汚れや汗など。衣替えで長期保管する前に、それらをきちんと洗い落とす“しまい洗い”を行いましょう。

しまい洗いの方法

- 1 襟元など、特に汚れが付着する箇所を部分洗いです。襟・袖専用の洗剤などを歯ブラシにつけ、軽くトントンと叩くようにして落とす。
- 2 40℃ほどの湯に酸素系漂白剤を溶かし、30分～1時間ほど浸けおきます。
- 3 部分洗いやつけ置きをした後、いつも通りに洗濯機で洗う。すすぎは2回行うのがベスト。
- 4 洗い終わった後、しっかりと乾かす。



ルール 03 賢い収納で手間を省く

面倒な衣替えを少しでも楽に、また衣類を守るためにも収納は重要なポイントです。

収納の工夫

- タンスの引き出しや収納ケースを、それぞれ季節ごとに分類。引き出し・ケースごとに入れ替えるだけで楽ちんな衣替えが叶います。
- 通気性の高い不織布製の収納ボックスを活用。防虫・防臭剤を忘れずに入れましょう。
- ニット類や T シャツなどは立てて収納するのがおすすめ。シワがつきにくく、型崩れも防止できます。



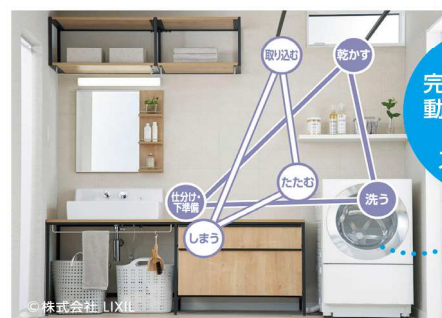
オススメ商品 ランドリープラス

各種ランドリーアイテムで、洗濯家事をひと部屋完結するランドリールームを作りませんか。

洗濯家事の作業を楽にする LIXILのアイテム

- 1 カウンタータイプ (洗面器セット付)
- 2 カウンタータイプ (洗面器セットなし)
- 3 ミラー (オープン棚付)
- 4 ウォールタイプ
- 5 ランドリーバー

衣類を洗うだけが洗濯ではありません。洗濯作業をスムーズにするためには、作業中の移動を極力少なくし、その場で終了することがポイントです。



ひと部屋
完結の空間と
動線の工夫で
家事を
スムーズに

商品のお問合せは…



株式会社 ミスタービルド福島

福島市西中央5丁目2-3 TEL.024-533-1251